

活動情報

取組項目 生物の生息状況の把握

組織名 四区町環境保全会

那須 管内

那須塩原 市

活動目的：地域の子供たちと一緒に生きものの観察を行う

活動内容：田んぼの学校で活動している水田と水田を活用したビオト - プで生きもの調査を実施

7月12日(日) 四区町環境保全会と狩込どじょっこ会による「田んぼの生きもの調査」が行われました。

今回の調査の趣旨を説明後、子供たちは2班に分かれて、カウンターを片手にカエル調査へ向かいました。先頭を歩く栃木県立那須拓陽高等学校の学生さんがカエルの種類を見分け、その数を子供たちがカウントしていきます。足音に気づいて一斉に田んぼの中へ飛び込むカエルを一生懸命観察していました。

続けて、前日6ポイントにしかけておいたウケを回収し、公民館に場所を移して、捕獲した生きものの数と種類を確認しました。

カエルは、アカガエル28匹・アオガエル10匹・トウキョウダルマガエル10匹が見付き、ほぼ前年同様の結果となりました。

ウケに入っていた生き物は、ドジョウ193匹・オタマジャクシ111匹のほか、ビオトープ池に注ぐ水路にはメダカが20匹入っていました。

今回は顕微鏡を使用して、ミクロの世界も体験しました。ヤゴやアキアカネ、マツモムシやゲンゴロウの幼虫などを20倍に拡大して観察しました。子供達の目がみるみる輝いて、今回ばかりは小さな科学者です。



池の中には何がいるのか



一番大きかったドジョウ(13cm)

